

# Ⅷ テント利用について

## 1. テントサイトについて

本館より約700m（徒歩10分程度）離れた広大なからまつ林の中に位置し、周囲からは、小川のせせらぎ、小鳥のさえずりが聞こえる。大自然のなかでのテント泊には最適な場所にあります。



常設テント

## 2. 開設期間について

常設テントサイト・移動テントサイトの開設期間は、5月1日～10月31日まで。

（気候によって、変更する場合があります。）

※ 開設期間外（冬季等）での移動テント宿泊体験を希望される場合は申込時にご相談ください。



移動テント

## 3. 施設・設備について (P.13 参照)

### (1) 常設テントサイト

10人用常設テント 10張

### (2) 移動テントサイト

8人用ドーム型テント 8張

（団体にて設営・撤収を行います）

5人用ドーム型テント 5張

（団体にて設営・撤収を行います）

### (3) キャンプセンター

#### ● 冷蔵庫

※他団体と共用となります。

使用時は品物に団体名を明記しまとめて入れてください

#### ● トイレ

#### ● 洗面台

#### ● AED

● シャワー室（男女各6基） 利用可能時間は、17時20分～21時30分です。

※利用希望の場合は活動計画表に明記してください。

### (4) 倉庫2

#### ● キャンプ用具

（テント・シュラフ（寝袋）・銀マット・ランタン等）

## 4. テントサイトの利用について

### (1) 常設テントサイト

- ① 貸出用シュラフ（寝袋）を使用する場合は、『シュラフシート使用カード』を売店へ提出し、記入された枚数のシュラフシートを、本館浴室の隣にあるシート等置場（リネン室）で受け取ります。  
受け渡しは、食堂営業時間（P.10 参照）以外で17時までをお願いします。  
返却の際もシート等置場（リネン室）へ運んでください。
- ② 寝具類（シュラフ（寝袋）・銀マット）とランタンは、**倉庫2**（P.30 参照）で貸し出します。  
※ ランタンの電池は団体にてご用意ください。（ランタン1個につき単1電池4本）  
電池は売店でも販売しております。
- ③ 使用したテントサイト・トイレ・シャワー室等を清掃してください。
- ④ キャンプセンターの洗面所の床とトイレの清掃は、床は**水をまかず**に、ほうきで掃いてください。

### (2) 移動テントサイト

常設テントサイトの①～④と同じ

- ① 移動テントの設営用具と寝具類は、**倉庫2**で貸し出します。

・テント本体	・フライシート	・グラウンドシート	・ペグ（必要数）
・ポール	・ハンマー	☆すのこ	☆寝具類（上記②と同じ）

※ 設営の前に用具を確認してください。☆以外は、1つの袋に入っています。

※ その他、テント関係の貸出用具を希望される場合は、別紙『食事・シート・教材等申込書』No.2の所定の欄にご記入のうえ、2週間前までに提出してください。

- ② テント設営は、指定のテントエリア内で行い、周辺の自然に配慮してください。（P.30 参照）
- ③ テントの撤収について（P.29 参照）
  - ・雨天の場合、またはテントが濡れている場合の撤収については当施設職員に確認ください。
  - ・原則として、出発日の10時までには完了してください。
  - ・テントに汚れや泥がついた場合は、水場で洗い落とすか、雑巾等で拭き取ってください。
  - ・用具類（ペグ・ハンマー等）は数を確認し、泥を落としてください。
  - ・用具を紛失又は破損した場合は、職員に申し出てください。
- ④ 用具の返却は、当施設職員が**倉庫2**で確認しますので、連絡してから運んでください。  
※ 不明な点、収納時刻、**雨天時**の対応については、当施設職員にご相談ください。

## 5. 共通事項

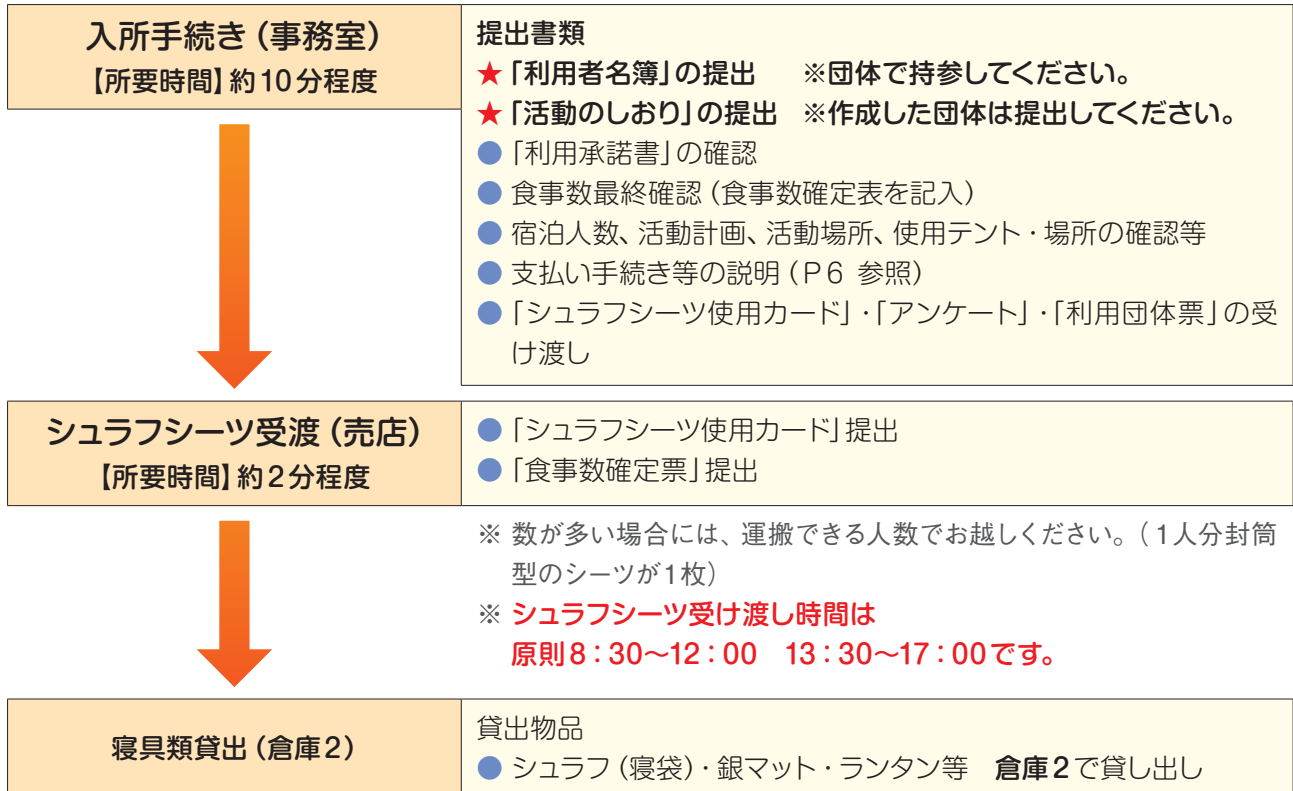
- (1) 活動エリア内及びその周辺は保安林となっておりますので、営火場（P.30 参照）以外での**たき火や花火は厳禁**です。
- (2) キャンプ場内への車両の乗り入れは、安全管理上、原則として禁止します。  
なお、緊急時及び作業時・火気点検時等に関係車両が入ることがありますのでご了承ください。
- (3) 食事については、野外炊飯、本館食堂食、弁当（当施設にて注文）が選択できます。
- (4) 悪天候等の場合、状況により本館へ移動していただく場合があります。
- (5) キャンプ場での喫煙はご遠慮ください。
- (6) キャンプ場周辺は夜間大変暗くなりますので、各団体で懐中電灯・ヘッドライト等の照明器具を持参ください。
- (7) シュラフ（寝袋）を持参される場合は、シュラフシートを使用しなくても構いません。

## 6. 入所について

当施設に到着しましたら、引率責任者は事務室にて「入所手続き」をおこなってください。

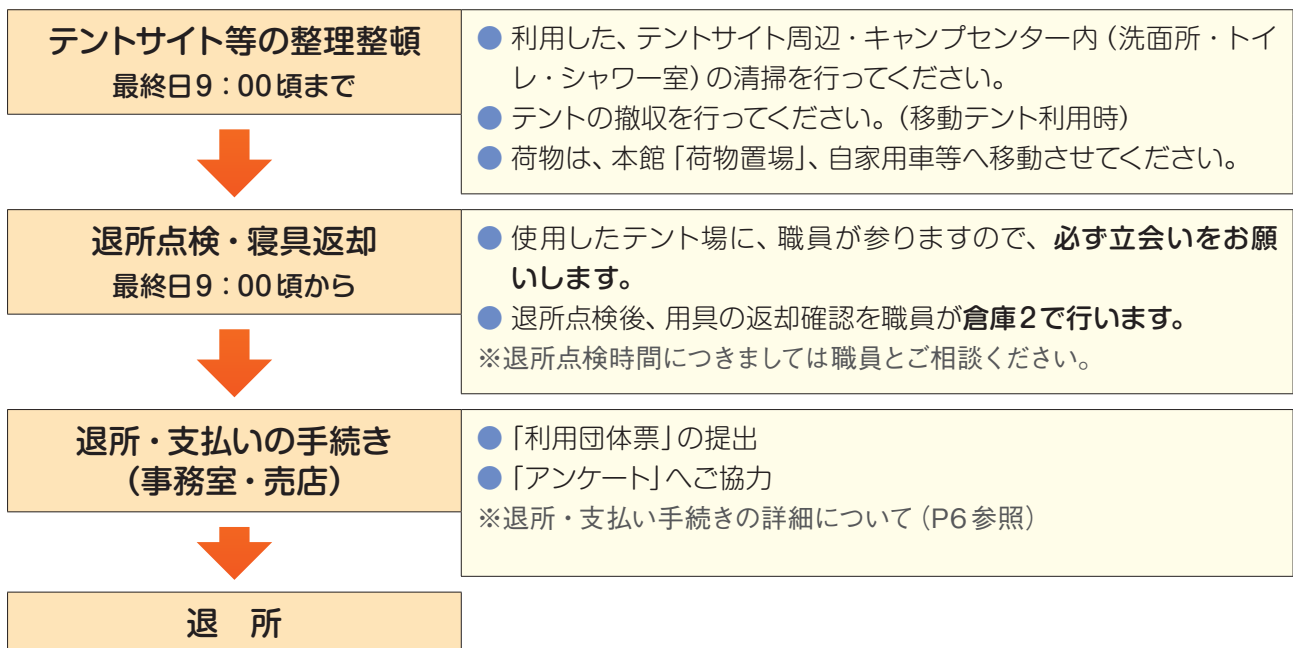
- 受付時間は原則として9:30～16:30の間ですが 移動テントをご利用の場合は設営時間（1張を8人で1時間程度目安）を考慮して到着をお願いします。

※到着が遅れそうな場合には、必ず当施設へ連絡してください。



## 7. 退所について

利用最終日は、次のことをおこなってください。



## 8. ドーム型テント設営手順

### ドーム型テント～準備編～



- ①ペグ収納袋
- ②フライシート
- ③テント本体
- ④ポール収納袋

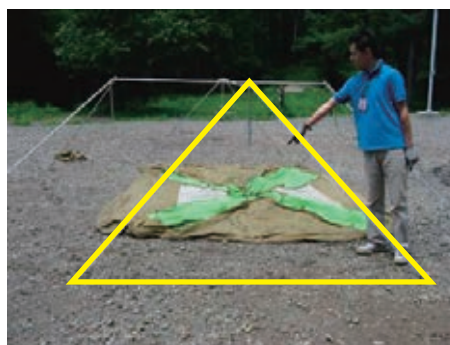
道具・部品を失くさないようきちんと管理してください。



### ドーム型テント～設営編～



- 1** ポールをつなぎあわせ、組み立てます。  
2組できたらポールの梁（はり）を交差させるように置きます。



- 2** テント本体を写真のように広げます。△印が出入り口となりますので確認します。  
広げたテント本体の上に、2組のポールを置いて、再度出入り口を確認します。



**3** テント本体の中央部にあるフックを、ポールの梁(はり)の上側に交差しているポールの梁2本の中心にかけます。



**4** テント本体のすそにある「ピン」をポールの足にさしこみます。ピンをさしこむと、ポール全体が上に盛り上がります。



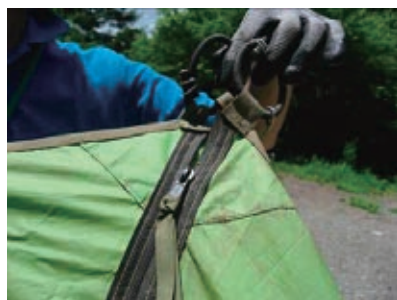
**5** テント本体にある「ハンドループ」を引き、写真のように輪をかけます。ポールのつなぎ部分(太いアルミの部分)の左右に輪をかけるようにします。



**6** ポールにテント本体のマジックテープで固定させます。これでテントは、ほぼ完成です。



フック



**7** フライシートの裏表を確認します。写真のフックがついている側が、裏になります。また、ファスナーがあるところは、出入り口となります。△印と同じ向きになります。



- 8** ファスナー（出入り口）部分を確認して、フックをポールにかけながらフライシートをテントに覆います。最後にフライシートのすそのフックを、テント本体のピンのリングにかけます。



- 9** ファスナー（出入り口）部分のすそを引き出した所にペグを打ちこみます。すそのゴムリングを留めるためです。

※ペグを深く打った場合・・・テント収納の際、抜きにくくなります。

※ペグの浅く打った場合・・・風で抜けたり、つまづく危険があります。

**ペグは5cm～7cm程度、頭が出ている位で良いでしょう。**

### ドーム型テント ～応用編～



風の強い時は、中に荷物を入れていても飛んでしまう場合があります。そんな時は、テント本体のすそにあるピンのリングに、ペグを通して地面に打ち込みます。リングは8ヶ所ありますが、全部に打ち込む必要はありません。

※ペグ・ハンマーを紛失しないように、収納袋に入れてください。



ファスナーを開ければ、風も通り快適です。しかし、開けっ放しだと、虫や蛇が侵入する場合があります。中のメッシュ（網）はきちんと閉めておきましょう！

ペグ収納袋（ペグ、ハンマー含む）・ポール収納袋はきちんとテントバッグに入れてテント内で保管するか、または引率の方が管理してください。

ドーム型テント ～撤収編～

基本的に、設営の反対の手順となります。



**1** ペグ・フライシートを外し、ハンドループの輪を外します。マジックテープをはがし、ポールの梁(はり)にかけたフックを外します。  
**※ファスナーは全部閉めておきます。**



**2** テント本体を写真のように広げ、ハンドループを中央に寄せます。  
 テントバッグに入る大きさまで半分ずつに折っていきます。しっかりと空気を抜きましょう。



**3** フライシートのファスナー部分を中に折り込みます。  
 テントバッグに入る大きさまで半分ずつに折っていきます。しっかりと空気を抜きましょう。

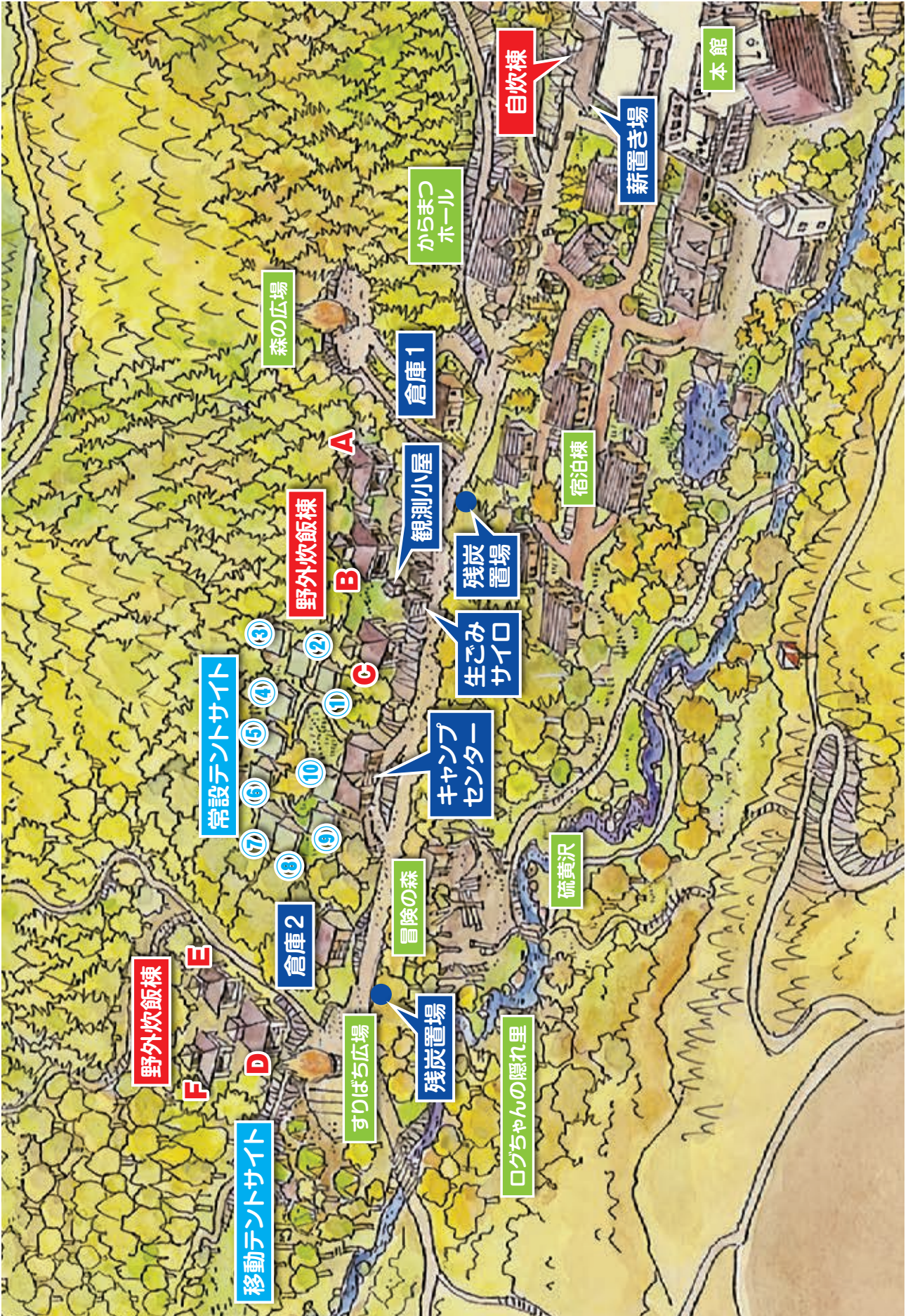


**4** 全てあるかを確認して、次の順番でテントバッグに収納します。

①テント本体	②フライシート
③ペグ収納袋(ペグ10本、ハンマー1本)	④ポール収納袋(ポール2組)

キャンプ倉庫2の決められた場所へ返却してください。

## 9. キャンプ・野外炊飯 案内図



利用にあたって

入所・退所について

生活について

施設・設備について

活動について

利用料金について

テント利用について

健康管理・安全管理について

提出書類等の記入について